

令和5年度 第15回「林地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年9月2日（土） 14：00～15：00

場 所：林公民館

参加団体等：林地区町会長協議会、林真砂会、花の会、公民館長など

発言【1】

家族が市外の障害者のグループホームに入居しており、移動支援を使い個人の買い物や病院に出かけている。その事業所では人手不足の為、現在移動支援を使えない状況にある。相談員を通じて探してもらったが、どこの事業所も人手不足の為、新規の受入れは難しいとのことだった。県や他の市との連携が必要だと思うので、対応をお願いしたい。

【市】

ご発言を受けて、市内の移動支援を実施している事業所に人材不足の実態把握を行いました。

その結果を踏まえて、人材不足の一因となっている移動支援事業の報酬額の見直しを検討しているところです。

移動支援事業は利用内容が市町ごとに定められているため、石川県、金沢市との連携は困難であると思われませんが、必要とする支援が受けられるよう、対策を講じていきたいと思えます。

発言【2】

(1) 獅子吼高原（スカイ獅子吼）の活性化を考えてほしい。

①近くで屋台を出し、音楽コンサートを土日開催してはどうか。

②広場の遊具施設が減っているため、ひとりが利用していると他の人が利用できない。時間制で区切るなどの対策をしてほしい。

③憩いの場がもう少し増えればよいと思うため、レストランの中に本を置くなど、大人が時間をつぶせる空間を作ってはどうか。

④夏だけでなく秋頃まで土日にサンセット営業をしてほしい。

⑤ゴンドラの大人料金が安い。

(2) 綿ヶ滝周辺の整備について、道路から看板が全然見えないので、綿ヶ滝であるということがわかるよう看板や周辺設備を充実してほしい。土日に物販販売やイベントを行ったり、昔のようにキャンプ場を設備するなどして欲しい。

- (3) 白山手取川ジオパークがユネスコ世界ジオパークに認定されたので、新聞やテレビなどでPRしてほしい。

【市】

- (1)①獅子吼高原では、例年9月から10月頃にかけて屋台や音楽祭のイベントを開催しており大勢の来場者で賑わっています。今後も同様のイベントを開催予定です。
- ②遊具施設利用時間制については、案内掲示の設置を検討したいと思います。
- ③レストラン内の本設置については、現在、感染予防対策として見送っております。今後の状況を見ながら本設置の再開を検討したいと考えております。
- ④サンセット営業日については、例年5月中旬、7月下旬、9月下旬の土・日に計6回営業しております。来シーズンも同回数を行う予定をしております。
- ⑤ゴンドラリフト料金については、大人往復710円、こども往復300円となっております。ゴンドラリフトの維持管理費等を含めた料金設定につき、ご理解をお願いいたします。
- (2) 綿ヶ滝をアピールする看板等は、現地や国道からの入り口などに設置してありますが、今後も周辺施設の充実を検討していきたいと考えております。
- また、今年は現地を盛り上げるためにジオパーク認定にあわせて「綿ヶ滝まつり」を開催しましたが、来年度以降もどのようなことができるのか検討していきたいと考えております。
- (3) 当ジオパークを広く発信するには、テレビでの特集は効果的であり、取り上げてもらえるよう、今後も働きかけを行います。
- そのほか、旅行雑誌への特集記事や石川県と協力し、県外で開催されるイベントへの出展等を行うなど周知に努めてまいります。

発言【3】

- (1) 獅子吼高原山頂には何も無い印象があり、ゴンドラ乗車料金も高い。獅子吼は夜、星が綺麗だと聞いたので、夏休みに星観察ができるように夜間の運行があれば良かったと思う。
- (2) 白山市は子育て支援が手厚く、身近に自然もあるので、のびのびと子育てができる。1家庭で多くの子どもがいる家庭もあるので、支援の状況や実感について、子どもが4～5人の家庭に話を聞くのもいいと思う。
- (3) 給食費無償化を期待しているが、無償化することで質が下がるのではないかと心配する声もある。無農薬の野菜などで質をあげてほしい。

- (4) 大雨の時、家の近くの用水路に水が溜まり、溢れると浸水すると思った。スーパーの前に積んであるような土嚢はいつ使うのか。土嚢は貸し出してもらえるものなのか。
- また、防災訓練はあるが、実際に災害が起こった時は皆パニックでどう動くか難しいと思う。今回の大雨を受けて今後どのように市民に働きかけするのか知りたい。
- (5) 行政無線放送などで土嚢がどこにあるか知らせることはできないか。

【市】

- (1) 獅子吼高原山頂には、ソリゲレンデ、スラックライン、ハンモック、ドッグランなどの子どもから大人まで楽しめる設備があります。
- また、山頂からジオスポットの手取川扇状地や加賀から能登方面まで広く眺望することができます。山頂レストランでは「高原のカフェ」としてランチからスイーツまでのメニューがあり、手取川扇状地を眺めながらの食事は格別のものです。
- ゴンドラ料金については、大人往復710円、こども往復300円となっており、ゴンドラリフト施設の維持管理費を含めた料金設定となっておりますのでご理解をお願いいたします。
- 獅子吼高原（スカイ獅子吼）では毎年サンセット（夜間）営業を年6回（5月・7月・9月）を開催しております。山頂からの日本海に沈む夕日や加賀平野の夜景、満天に広がる星空は大変美しいため、ご来場いただければ幸いです。
- (2) 多子世帯を含め、今後とも、ミライ会議やアンケート等で市民の皆様の声を聴かせていただきたいと思っております。
- (3) 給食の内容は、文部科学省から示された学校給食摂取基準を活用し、成長著しい児童生徒の健全な成長及び生涯を通じた健康保持のため、適切な栄養管理で実施しています。無農薬野菜のみで学校給食を実施することは、多くの量を確保できないため現状では困難であると考えます。これまでも低農薬の野菜を使用していますが、今年度は新たな取り組みとして、市内の小中学校で11月29日から30日に特別栽培米の認証を受けた米を給食で提供しました。
- (4) 鶴来地域に備蓄してある土嚢袋は、鶴来地域災害対策協議会の協力をいただき設置してあります。鶴来支所総務課にお問い合わせいただければ、近場の備蓄場所の紹介や使用について対応いたします。
- また、災害時には、国、県、气象台等の関係機関と連携を取り合い、気象状況の動向等を注視しながら、防災行政無線、ホームページ、メール、ライン等

で避難指示や避難所開設等の情報発信を行うこととしています。

- (5) 土嚢袋の保管場所について、特に防災行政無線等でのお知らせはしていませんが、町会長の皆さんにご案内することとし、鶴来地域に備蓄してある土嚢袋については、必要時に鶴来支所総務課にお問い合わせいただければ、近場の備蓄場所の紹介等を行います。

なお、町内会及び自主防災組織向けの消防施設等設置事業補助金交付事業の補助項目には土嚢の補助も含まれていますので、ご活用いただければと思います。

発言【4】

白山市の花いっぱいコンクールを復活してほしい。花のことや地域全体のことを考え再開してもらえたらと思う。県はコンクールを行っている。周知のためにも市独自のものを行ってほしい。

【市】

平成25年度から休止としていた花いっぱいコンクール（緑と花のまちなみ賞）については、令和6年度に市政20周年記念にあわせ、開催を検討しているところです。

令和7年度以降についても、応募数や関係者のご意見を踏まえながらどのような形で開催するか検討してまいります。

発言【5】

- (1) 区画整理等や民間開発で林地区も人口が増えている。地区の子供が地区内の保育所に入ろうと思っても入れない現状がある。保育園の建設をできるだけ早くしてほしい。
- (2) 高橋川上流の方もハード整備検討に入っていくと聞いているので、なるべくスムーズに進むよう石川県と白山市が協力してもらいたい。

【市】

- (1) 現在、認定こども園の新設に向けて事業を進めている所です。
- (2) 石川県において、今年度より上流区間の調査に取りかかったと伺っております。現在の工事区間から期間が空くことなく上流区間の工事に取りかかって頂くよう、県へ要望してまいります。